

EMB ビジネスウェビナー
【グリーンディールと EU 経済の復興】
講演概要

欧州グリーンディールの射程 - 「サステナビリティの主流化」を目指す成長戦略

講師：蓮見 雄氏

欧州グリーンディールは、サーキュラー・エコノミーへの転換によって気候中立を実現すること、および、戦略的物資を輸入に頼らない産業の自律性を究極の目標としています。その具体策として、新産業戦略とサステナブル・ファイナンスの実現を通じ、EU 経済の復興を目指す EU 成長戦略があります。

ウクライナ戦争を契機として、インフレ、貿易赤字、ガス不足などに直面しながらも、EU の方針は揺らいでいません。EU は、バリューチェーン全体の「サステナビリティの主流化」をグローバル・スタンダードにすることさえ目指し、EU タクソノミーなど新たなビジネスルールの構築を進めています。ここでは、その成長戦略がビジネスに影響を与えることを前提として、欧州グリーンディールの基本構造について解説します。

サステナブル・ファイナンス拡大に向けた EU の金融制度改革 - EU タクソノミーと情報開示

講師：石田 周氏

EU が欧州グリーンディールを資金面で成功に導くためには、サステナブル・ファイナンスの拡大が不可欠となっています。EU は、2018 年の「サステナブル・ファイナンス行動計画」によってサステナブル・ファイナンスの実現に向けた枠組みの全体像を示し、2021 年 7 月にも新たな戦略を打ち出しました。現時点では、EU タクソノミーや情報開示に関するルールにおいて大きな進展があり、あらゆる企業が対応を迫られています。

ここでは、サステナブル・ファイナンスの実現に向けた EU の金融制度改革の到達点について解説します。

サステナブル・ファイナンスが企業・金融機関に与える影響と EU タクソノミー拡張の議論

講師：高屋 定美氏

欧州では、EU が ESG 投資の整備を従来行ってきた経緯から、2019 年より欧州グリーンディールとして、積極的に気候温暖化政策を進めることを表明しています。気候温暖化政策の一環として ESG 投資、ならびにサステナブル・ファイナンスのための環境整備を EU サステナブル・ファイナンス戦略として実施してきました。今後、EU 域内では EU タクソノミーによって分類された経済行動に対し、人為的なバイアスがかかり、EU はそれを通じて脱炭素社会への移行を促そうとするものと考えられます。

ここでは、EU サステナブル・ファイナンス戦略の中でも重要な EU タクソノミーに焦点を当て、タクソノミーが企業や金融機関に及ぼすであろう影響を解説します。